

「京・資源めぐるプラン」の進捗状況

「京・資源めぐるプランー京都市循環型社会推進基本計画(2021-2030)ー」(令和3年3月策定)に掲げる数値目標(指標)と重点施策の進捗状況及び食品ロス削減推進施策の実施状況を取りまとめたものです。

これらの進捗状況等を継続的・定期的に確認し、進捗管理を徹底することで、各種取組の点検や見直しを行うとともに、ごみ減量等の効果の把握・検証を実施します。

目 次

1 数値目標(指標)の進捗状況

…1

持続可能な循環型社会の実現に向け、市民・事業者・行政が一致団結して意欲的に取り組むとともに、取組の成果を確認するための数値目標です。

2 重点施策の進捗状況

…2

持続可能な循環型社会の実現に向け、強力に推進していく12の重点施策とそれら重点施策を具体化した各種取組です。

3 食品ロス削減推進施策の実施状況

…14

食品ロスの削減に向け、国が掲げる6つの基本的施策に、本市独自の「生ごみ等の有効利用の推進」を加えた項目の下、本市が推進していく施策です。本計画は、食品ロス削減推進計画でもあるため、重点施策に加えて、当該施策の実施状況を取りまとめています。

1 数値目標(指標)の進捗状況 →太枠内の指標の詳細進捗について、資料1-2で説明します。

分類	目標指標		単位	平成12年度 (2000年度) ピーク時	令和元年度 (2019年度) 基準年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) 前年度	令和4年度 (2022年度) 当年度	令和12年度 (2030年度) 目標年度	主な関連 重点施策	
ごみ量	[1]	市受入量		万トン	82	40.9	38.5	38.1	38.0	37	①～④
		市民1人1日当たり		グラム	1,530	762	721	718	718	700	
		内訳	家庭	万トン	35	21.2	21.6	21.1	20.3	19.5	
			市民1人1日当たり	グラム	640	396	404	399	383	370	
			事業	万トン	47	19.7	16.9	17.0	17.7	17.5	
			市民1人1日当たり	グラム	890	366	317	320	335	330	
	[2]	ごみ焼却量		万トン	76	38.2	34.9	34.8	34.3	33	①～④ ⑥～⑩
		市民1人1日当たり		グラム	1,420	711	654	655	649	625	
		内訳	家庭	万トン	33	19.0	18.8	18.5	17.5	16.3	
			市民1人1日当たり	グラム	615	354	352	348	330	310	
事業			万トン	43	19.2	16.1	16.3	16.8	16.7		
市民1人1日当たり			グラム	805	357	302	307	318	315		
2R	[3]	レジ袋使用量(家庭)		トン	5,200	2,500	1,500	1,200	算出中	400	③
		市民1人当たり		枚	340	220	130	110		35	
	[4]	ペットボトル排出量(家庭)		トン	3,600	3,400	3,300	3,300	算出中	1,600	③⑤
		市民1人当たり		本	90	90	90	90		45	
	[5]	使い捨てプラスチック排出量		万トン	6.0	5.1	4.8	4.8	算出中	—	③⑤
	[6]	食品ロス排出量		万トン	9.6	6.1	5.7	5.5	算出中	4.6	②
		市民1人1日当たり		グラム	179	114	107	103		87	
		内訳	家庭	万トン	4.0	2.5	2.6	2.4		2.0	
			市民1人1日当たり	グラム	75	47	49	45		38	
			事業	万トン	5.6	3.6	3.1	3.1		2.6	
市民1人1日当たり			グラム	104	67	58	58	49			
リニューアブル	[7]	バイオプラスチック製容器包装排出割合		%	—	—	22(レジ袋)	33(レジ袋)	算出中	—	⑤⑨
分別・リサイクル エネルギー創出 適正処理	[8]	プラスチックごみ分別実施率(家庭)		%	—	46	47	48	算出中	60	⑧
	[9]	食品廃棄物リサイクル率(事業)		%	—	19	23	23	算出中	36	⑦
	[10]	再生利用率		%	—	31	31	33	算出中	39	⑥～⑨
	[11]	市最終処分量		万トン	16.5	5.1	5.1	4.9	4.6	4.4	①～⑫
	脱炭素	[12]	廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量		万トンCO ₂	28	16.1 (2013年度)	14.7	14.8	算出中	11.3

2 重点施策の進捗状況

「京・資源めぐるプラン」における3つの基本的な方向性及び12の重点施策

(1)

くらしと事業活動における2Rの推進及びリニューアブルへのチャレンジ

～そもそもごみになるものを減らし、植物等の再生可能な資源を使う～

- ①市民・事業者・行政の協働による2Rの促進
- ②全国をリードする「食品ロス削減のまち」の実現
- ③徹底した使い捨てプラスチックの削減
- ④観光（おもてなし）とごみ対策の調和
- ⑤再生可能資源等の利活用の促進による化石資源からの脱却

(2)

質の高い資源循環に向けた分別・リサイクルとエネルギー創出の推進

～もっと分別・リサイクルに取り組み、繰り返し資源として再生し、効率的にエネルギーを生み出す～

- ⑥市民・事業者・行政の協働による分別・リサイクルの促進
- ⑦食品廃棄物や木質ごみ等のバイオマスのリサイクルの促進
- ⑧徹底したプラスチックの資源循環
- ⑨イノベーションの促進

(3)

自然災害の発生や長寿社会の進展等にもしなやかに対応できる強靱な適正処理体制の構築

～災害に強い、長寿のまちの安心・安全なごみ処理体制を構築する～

- ⑩廃棄物処理体制の更なる強靱化に向けた適正処理の推進
- ⑪強靱な災害廃棄物処理体制の構築
- ⑫高齢者に対するごみ出し支援等の促進

① 市民・事業者・行政の協働による2Rの促進

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	「しまつのこころ」の精神に根差した2Rの実践の取組拡大	・地域学習会「しまつのこころ」楽考の実施（H29～）【実施回数】R3：137回 → R4：161回
		・事業者報告制度の運用（H28～） 【提出者数】R3：523者 → R4：544者
		・2R特別優良事業所認定（H29～） 【認定件数】R3：2件 → R4：4件
		・2R及び分別・リサイクル活動優良事業所認定（H24～（H29名称変更）） 【認定件数】R3：13件 → R4：16件
2	IoT等を活用した次世代環境配慮型のくらしや事業活動の推奨	・一般廃棄物収集運搬業者への計量パッカー車の導入助成（R2～） 【助成件数】R3：7件 → R4：3件
		・民間事業者（㈱クラス）と連携した家具・家電等のサブスクリプションサービスの普及促進（R3～）
3	引っ越しや家財整理時等における積極的な民間活用を含めたリユースの促進	・民間事業者（㈱ジモティー）と連携したリユースの促進（R4～）
4	若者など次世代の担い手の育成	・さすてな京都における環境学習 【来館者数】R3：19,550人 → R4：37,988人
		・京エコロジーセンターにおける環境学習 【来館者数】R3：46,831人 → R4：69,765人
		・環境副読本を活用した小・中学校での環境学習
		・2Rや分別・リサイクルに係る学生向け動画の制作及び大学等への配布（R3～）
5	京都市役所による率先的な2Rの推進	・「京都市役所環境マネジメントシステム（KYOMS）」や「京都市プラスチックごみ削減のための啓発物品調達方針」等に基づく紙ごみ・プラスチックごみ等の削減
		・職員向けフードドライブの実施及びフードバンク団体への食品の寄付（H30～） 【寄付重量】R3：40kg → R4：50kg

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- ・「しまつのこころ条例」の点検・見直し
- ・民間と連携したリユース・シェアリング等のより一層の推進
（大型ごみや持込ごみのインターネット事前申込時など、粗大ごみの廃棄検討時のリユースへの誘導等）

② 全国をリードする「食品ロス削減のまち」の実現

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	市民や事業者による知恵・工夫を含めた減量の取組の効果検証と普及拡大	・ 食品ロス削減月間を中心とした「てまえどり」等の周知啓発（H30～）
2	食品・観光関連事業者の取組支援	・ 食べ残しゼロ推進店舗の普及拡大（H26～）【登録店舗数】R3：1,767 店舗 → R4：1,770 店舗
		・ 食べ残しゼロ推進店舗の優良事例の紹介（市のHP・チラシ・メールマガジン、民間HP等）
		・ 特定食品関連事業者の減量計画書制度の運用（H23～） 【提出事業者数】R3：85 者 → R4：86 者
		・ 民間事業者等と連携した食品ロス削減（商品の共同開発、取組の情報発信等）（R2～）
		・ 「食べ物の「もったいない！」を探せ！～京都市フードロスチャレンジ」の開設 及び 食品スーパー等を通じた消費者向けの情報発信（R4～）
		・ 「食品ロスを減らそう！お結び広場」の開設（食品ロス削減に役立つ技術・サービスの情報提供等）（R4～）
3	商慣習の見直し「販売期限の延長」の社会実験の成果を踏まえた取組拡大	・ 食品ロス削減月間を中心とした「販売期限の延長」の周知啓発（R1～） 【参加事業者数】73 者
4	AI やIoT 等を活用した取組の導入支援	・ フードシェアリングサービス等の普及促進 （食品関連事業者への説明・相談会の実施（R1）【43 者参加】、市民・事業者向けの情報発信等）（R3～）
		（再掲）・「食品ロスを減らそう！お結び広場」の開設（食品ロス削減に役立つ技術・サービスの情報提供等）（R4～）
5	フードバンク等活動の支援	・ フードバンク団体への助成（H29～） 【助成件数】R3：3 件→R4：3 件
		・ 商店街等でのフードドライブの実施及びフードバンク団体への食品の寄付（R3～） 【寄付重量】R3：86kg → R4：79kg
		（再掲）・職員向けフードドライブの実施及びフードバンク団体への食品の寄付（H30～） 【寄付重量】R3：40kg → R4：50 kg
		（再掲）・「食品ロスを減らそう！お結び広場」の開設 （食品ロス削減に役立つ技術・サービスの情報提供等）（R4～）

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- ・ 食品ロス削減に係る消費者・事業者のより一層の相互理解の促進や橋渡し（マッチング等）
- ・ 食品ロス削減の優良事例等のより一層の情報発信や活用支援

③ 徹底した使い捨てプラスチックの削減

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	レジ袋（プラスチック製買物袋）の更なる削減	・小売事業者と連携した食品ロスゼロキャンペーン内でのレジ袋削減の啓発の実施（R2～） 【啓発回数】 R3：10回 → R4：10回
		・細組成調査・アンケート調査・事業者報告制度等によるレジ袋の配布・受取状況等の実態把握
		・レジ袋削減を促すネット広告の実施（R4～）
2	新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい生活様式下での使い捨てプラスチックの削減	・宅配及びテイクアウトに係るプラスチック削減助成（R3） 【助成件数】 R3：53件
		・宅配及びテイクアウトに係るプラスチック削減の優良事例の情報発信（市HP・事業ごみニュースレター、民間情報誌等）（R4～）
3	使い捨てプラスチック削減に取り組む事業の推奨	・マイボトル推奨店の街頭・市HP等での周知啓発（H27～） 【推奨店舗数】 R3：30者・205店舗 → R4：32者・205店舗
		・給水スポットの街頭・市HP等での周知啓発（R1～） 【スポット数】 R3：824箇所 → R4：847箇所
		（再掲）・宅配及びテイクアウトに係るプラスチック削減の優良事例の情報発信（市HP・事業ごみニュースレター、民間情報誌等）（R4～）
		・特定プラスチック使用製品の排出抑制に関する周知啓発及び取組状況調査（R4～）
4	マイボトル利用促進に向けた給水スポットの整備・情報発信	・民間事業者と連携した本市・民間施設への給水機の設置（R1～）
		・地域イベントにおける給水機の設置及びマイボトル利用の周知啓発 【給水機設置件数】 R3：3件 → R4：9件
		（再掲）・マイボトル推奨店の街頭・市HP等での周知啓発（H27～） 【推奨店舗数】 R3：30者・205店舗 → R4：32者・205店舗
		・マイボトル利用を促すネット広告の実施（R4）
5	マイクロプラスチックを含む河川ごみ等の実態把握	・市内河川におけるマイクロプラスチック及びメソプラスチックの個数密度及び組成調査の実施（R3～R4）

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- ・レジ袋や特定プラ12品目の配布・受取状況等の実態把握及びそれに基づく具体的な取組の検討・実施
- ・ペットボトルの使用・排出状況やマイボトル・給水スポット等の利用状況等の実態把握及びそれに基づく具体的な取組の検討・実施
- ・プラスチックごみ削減に係る理解促進と事業者・消費者と協働した取組（マイボトル推奨店舗等のプラスチックごみの削減に取り組む事業者の推奨、それら事業者と連携した消費者への情報発信等）

④ 観光（おもてなし）とごみ対策の調和

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	地域や観光関連事業者と連携した観光客への「しまつのこころ」やマナーの浸透	・ 京都エコ修学旅行（H28～） 【校数・参加者数（引率者数含む）】 R3：77 校・7,435 名 → R4：116 校・13,034 名
		・ 京都市観光協会の SNS を通じた外国人観光客への周知（R4～）
		・ 民間等イベントにおけるリユース食器の普及促進（祇園祭ごみゼロ大作戦（H26～）等）
		・ 街頭ごみ容器のごみの収集・清掃 【設置数】 R3：297 基 → R4：303 基 【収集量】 R3：243 トン → R4：249 トン
		・ 宿泊事業者への指導・啓発
2	条例に基づく観光関連事業者の取組の実践	（再掲）・ 事業者報告制度の運用（H28～） 【提出者数】 R3：523 者 → R4：544 者
		（再掲）・ 特定食品関連事業者の減量計画書制度の運用（H23～） 【提出事業者数】 R3：85 者→R4：86 者】
		・ 事業用大規模建築物の減量計画書制度の運用 【提出件数】 R3：2,634 件 → R4：2,671 件
3	観光関連事業者への取組支援	（再掲）・ 食べ残しゼロ推進店舗の優良事例の紹介（市の HP・チラシ・メールマガジン、民間 HP 等）
		（再掲）・ 2R 特別優良事業所認定（H29～） 【認定件数】 R3：2 件 → R4：4 件
		（再掲）・ 2R 及び分別・リサイクル活動優良事業所認定（H24～（H29 名称変更）） 【認定件数】 R3：13 件 → R4：16 件

<今後の方向性（今後必要な主な取組等）>

- ・ 観光客向けの周知啓発や観光関連事業者の取組の支援（インバウンドの回復等への備え）

⑤ 再生可能資源等の利活用の促進による化石資源からの脱却

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	再生可能資源に係る市民理解の促進に向けた事業者と連携した周知啓発	・バイオマスプラスチックの解説やバイオマスプラスチック配合の容器への切替を進めている店舗・製品等の情報発信（市民向けチラシ・市HP・公式YouTube、民間情報誌）
		・地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」でのリニューアブルの周知啓発（R4～）
		・リニューアブルの取組に対する意識、意向調査及びリニューアブル化の取組状況等の把握（市民・事業者へのアンケート）
2	植物由来のバイオプラスチックや紙素材など再生可能資源を原料とした素材の普及支援	・家庭ごみの有料指定袋にバイオマスポリエチレン（サトウキビの非可食部等から生成）を使用（H29～）
		（再掲）・宅配及びテイクアウトに係るプラスチック削減助成（R3） 【助成件数】R3：53件
		（再掲）・宅配及びテイクアウトに係るプラスチック削減の優良事例の情報発信（市HP・事業ごみニュースレター、民間情報誌等）（R4～）
3	再生資源（リサイクルされた資源）の活用促進	・「京都市役所グリーン調達推進方針」や「京都市プラスチックごみ削減のための啓発物品調達方針」等に基づく市役所における再生資源の活用促進

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- ・ 再生可能資源（バイオマスプラ等）や再生資源（リサイクルされた資源）の利用状況等に係る実態把握及びそれに基づく具体的な取組の検討・実施

⑥ 市民・事業者・行政の協働による分別・リサイクルの促進

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	条例等に基づく分別方法の指導や周知啓発の徹底	・エコまちステーション、市チラシ・HP・アプリ、市民しんぶん等での分別の周知啓発
		・搬入物検査の実施・事業所等への立入指導等 【検査実施回数】R3：117回 → R4：116回 【立入指導】 R3：315件 → R4：283件
		・許可業者や事業者団体等と連携したニュースレター「ごみゆにけーしょん」の発行(年3回、H23～)
		・廃棄物管理責任者への指導・啓発、廃棄物管理責任者研修会等の開催
		・業者収集マンション等管理者への指導・啓発、共同住宅等分別周知等届出制度の運用等
		・ごみ分別案内アプリ「さんあ〜る」の配信開始(R4～) 【ダウンロード数】R4：約3,700件
2	コミュニティ回収や事業者回収など自主的な分別・リサイクルの取組支援	(再掲)・事業者報告制度の運用(H28～) 【提出者数】R3：523者 → R4：544者
		・コミュニティ回収実施団体への助成(H16～) 【助成団体数】R3：2,801団体 → R4：2,807団体
		・衣料品自主回収推奨店の拡大・周知啓発(H27～) 【登録店舗数】R3：5者・28店舗 → R4：7者・38店舗
		・民間事業者のペットボトル回収(ボトル to ボトルリサイクル)に係る周知啓発(R3～)
		・民間事業者と連携した衣料品の回収促進(民間回収BOXの周知啓発、回収イベントの実施)
3	市民にとって利便性の高い分別回収体制の構築	・移動式拠点回収の実施回数・頻度の拡大 【実施箇所数・実施回数】R3：455箇所・951回 → R4：437箇所・1,481回
		・プラスチック製品の分別回収の実施(R5～)

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- ・より一層のわかりやすい分別案内及び不適正排出者に対する指導
- ・民間事業者の自主回収等の取組状況の実態把握及びより一層の連携・取組支援、市及び民間事業者の回収拠点の拡大

⑦ 食品廃棄物や木質ごみ等のバイオマスのリサイクルの促進

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	リサイクル製品の供給先の確保と利活用支援	・ 食べ残しゼロ推進店舗が参画する食品リサイクルループの取組の支援（R4～） ・ 民間事業者と連携した地域での生ごみ堆肥の活用推進（堆肥回収会や講座の開催、堆肥持参者へのまちづくり通貨の発行）（R4～）
2	施設稼働状況やリサイクル製品の需給を踏まえたリサイクルのあり方の検討等	・ 南部クリーンセンターバイオガス化施設での生ごみ等のバイオガス発電（R1～） ・ 食品廃棄物、木質ごみ、紙ごみの民間リサイクルの促進（リサイクルに係る周知啓発、コミュニティ回収への助成等） ・ 京北地域におけるバイオガス化モデル事業の実施（R5）
3	排出者責任の考え方に基づく、民間リサイクルを阻害しない業者収集ごみ及び持ち込みの搬入手数料の検討	・ 審議会からの答申を踏まえたごみ搬入手数料の条例改正（R4）

<今後の方向性（今後必要な主な取組等）>

- ・ 食品リサイクルに係る事業者の取組状況や需要（リサイクル製品の活用先）と供給（リサイクル施設）等の実態把握及びそれに基づく具体的な取組の検討・実施
- ・ 事業者報告制度等を活用した事業者へのリサイクル促進
- ・ 食品リサイクルの受け皿の充実（リサイクル施設の誘致・整備支援等）
- ・ 手数料改定を契機とした排出事業者責任及び費用負担に係る理解の促進や、より一層のごみ減量・リサイクルの促進

⑧ 徹底したプラスチックの資源循環

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	ペットボトルのより質の高い回収・リサイクル方策の検討	（再掲）・民間事業者のペットボトル回収（ボトル to ボトルリサイクル）に係る周知啓発（R3～）
		・市が収集したペットボトルのボトル to ボトルリサイクルの実施（R4～）
2	製造・販売事業者とも連携したプラスチック製品の回収	（再掲）・プラスチック製品の分別回収の実施（R5～）
3	プラスチック製容器包装の分別の促進	・分別対象の種類や汚れの度合いに係る市民しんぶん等での周知（R4）
		（再掲）・プラスチック製品の分別回収の実施（R5～）
4	事業者による店頭回収等の自主回収の推奨	（再掲）・民間事業者のペットボトル回収（ボトル to ボトルリサイクル）に係る周知啓発（R3～）
		・民間事業者による使用済みプラスチックの店頭回収・リサイクル・製品化の取組支援

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- ・プラスチック製容器包装及びプラスチック製品の一括収集の円滑な実施及びそれを契機とした分別の促進
- ・事業者によるペットボトルやプラスチック製容器包装などの店頭回収の促進に向けた民間との連携や取組の支援

⑨ イノベーションの促進

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	バイオガス化を核とした分散型地域循環のモデルの検討	・ PHA 系バイオプラスチックのライフサイクル実証事業（PHBH（生分解性）ごみ袋を用いた生ごみの分別排出・回収実験→京都市外でのバイオガス化）（R4）
		（再掲）・ 京北地域におけるバイオガス化モデル事業の実施（R5）
2	大学等と連携した事業者のイノベーションの促進	・ PHA 系バイオプラスチックのライフサイクル実証事業（R4）
		（再掲）・ 京北地域におけるバイオガス化モデル事業の実施（R5）
3	AI、IoT、センシング等の資源循環に貢献する新技術の活用促進	（再掲）・ 一般廃棄物収集運搬業者への計量パッカー車の導入助成（R2～） 【助成件数】 R3：7 件 → R4：3 件
		・ スマートごみ箱を活用したまちの美化及び環境、文化、観光施策等の推進（R4～） 【設置数】 R4：6基

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- ・ 研究機関や民間事業者と連携した地域循環共生圏の構築に向けたモデル事業の実施及び社会実装
- ・ 資源循環に貢献する新技術の実態把握及びそれに基づく具体的な取組の検討・実施

⑩ 廃棄物処理体制の更なる強靱化に向けた適正処理の推進

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	災害対応も視野に入れた直営・民間連携の収集体制のあり方の検討及び施設の継続的な維持・更新	・災害対応も視野に入れた直営・民間委託の収集体制の維持・更新
		・施設の継続的な維持・更新
2	大型家具や家電等の使用済み退蔵品の排出促進	（再掲）・民間事業者と連携したリユースの促進（R4～）
3	リチウムイオン電池など有害危険物の分別回収の新たな仕組みの構築と分別排出促進による収集・処理への負荷低減	・リチウムイオン電池等内蔵の小型家電の拠点回収
		・リチウムイオン電池内蔵の電子たばこの回収・処理
		・市の各種啓発媒体やメディアを活用した、リチウムイオン電池による火災事故等の注意喚起

<今後の方向性（今後必要な主な取組等）>

- ・使用済みの家具・家電等の退蔵状況の実態把握及びそれに基づく具体的な取組の検討・実施
- ・有害危険物の適正排出に係る周知啓発の徹底

⑪ 強靱な災害廃棄物処理体制の構築

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	発災時の対応に係る平時からの周知啓発・訓練・災害支援等による災害への備え	・環境省主催の研修・ワーキンググループ・訓練、災害廃棄物処理担当者向け勉強会等への職員の参加
2	発災時に対応できる人員や機材、仮置場や埋立処分地等の確保	（再掲）・災害対応も視野に入れた直営・民間委託の収集体制の維持・更新
		・パッカー車等の機材の更新 【更新台数】R3：3台 → R4：0台
3	埋立処分地の延命策の検討・実施	・東北部クリーンセンターの焼却灰からの鉄分回収（R3～）

<今後の方向性（今後必要な主な取組等）>

- ・災害廃棄物の発生抑制等に係る平時からの周知啓発
- ・災害廃棄物の処理に係る民間との連携体制の強化

⑫ 高齢者に対するごみ出し支援等の促進

取 組		進捗状況（主な具体的事業の実施状況）
1	地域コミュニティや福祉施策等と連携したごみ出し・分別の支援	まごころ収集（玄関先収集、ごみの排出がない場合の登録連絡先への連絡、インターフォンでの声掛け） 【実施件数】 R3：4,157 件 → R4：4,489 件
2	リサイクル技術等の進展に合わせた紙おむつの処理方法の検討	他自治体の取組状況、民間リサイクル施設の整備状況等の注視

＜今後の方向性（今後必要な主な取組等）＞

- 紙おむつのリサイクルに係る民間事業者の取組状況やリサイクル施設の整備状況等の注視及びそれに合わせた処理方法の継続的な検討

3 食品ロス削減推進施策の実施状況

施策	取組状況(R4)
(1)教育及び学習の振興、普及啓発等	
[1] ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」 <u>家・事</u>	実施
[2] 2R行動ガイド「しまつのこころ得」 <u>家・事</u>	実施
[3] 地域学習会「しまつのこころ楽考(がっこう)」 <u>家</u>	実施【161 回実施】
[4] 生ごみ3キリ運動 <u>家</u>	実施
[5] 30・10(サーティ・テン)運動 <u>事</u> 【重点施策②-2(一部)】	実施
[6] 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」 <u>事</u>	実施【116 校・13,034 名参加】
[7] さすてな京都 <u>家・事</u>	実施【37,988 人来館】
(2)食品関連事業者等の取組に対する支援	
[1] 京都市食べ残しゼロ推進店舗認定制度 <u>事</u> 【重点施策②-2(一部)】	実施【1,770 店舗登録】
[2] 商慣習の見直し「販売期限延長」の社会実験の成果を踏まえた取組拡大 <u>事</u> 【重点施策②-3】	実施【73 事業者】
[3] AI や IoT 等を活用した取組の導入支援 <u>事</u> 【重点施策②-4】	実施
[4] 特定食品関連事業者に対する減量指導 <u>事</u>	実施【86 事業者提出】
(3)表彰	
[1] 優良事業所認定制度 <u>事</u>	実施【20 件認定】
[2] 京都環境賞 <u>家・事</u>	実施【51 件(ごみ関連 38 件)応募】
(4)実態調査及び調査・研究の推進	
[1] ごみ細組成調査 <u>家・事</u>	実施【家庭ごみ】
[2] 市民や事業者による知恵・工夫を含めた減量の取組の効果検証と普及拡大 <u>家・事</u> 【重点施策②-1】	実施
(5)情報の収集及び提供	
[1] 食品ロスゼロプロジェクトの運営 <u>家・事</u>	実施
[2] 大学生・ごみ減量サポーターのSNSによる発信 <u>家・事</u>	実施
[3] 全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会を通じた情報の収集・発信 <u>家・事</u>	実施
[4] エレンマッカーサー財団フードイニシアチブへの参画 <u>家・事</u>	実施
(6)未利用食品を提供するための活動の支援等	
[1] フードバンク等活動の支援 <u>家・事</u> 【重点施策②-5】	実施【3 件助成】
[2] 「子どもの居場所づくり」に関する助成制度 <u>家・事</u>	実施【9 件助成】
[3] 本市関連の未利用食品の有効活用 <u>家・事</u>	実施
(7)生ごみの有効利用の推進	
[1] 南部クリーンセンターバイオガス化施設の整備 <u>家・事</u>	実施
[2] 生ごみコミュニティ堆肥化事業 <u>家</u>	休止(財政状況を考慮)
[3] 生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 <u>家</u>	休止(財政状況を考慮)
[4] 学校給食生ごみのリサイクル <u>事</u>	実施【455 トンリサイクル】
[5] 社会福祉施設等に対する生ごみ・落ち葉処理機購入助成金制度 <u>事</u>	休止(財政状況を考慮)